

呼吸療法認定士試験

今年の3学会合同呼吸療法認定士の試験が、昨年度分が延期され令和3年7月に行われました。

結果、3名が合格しました。これで5名の呼吸療法認定士が在籍となりました。

より臨床の現場で、知識を生かし働いていこうと思います。



呼吸療法認定士とは？

吸入療法、酸素療法、呼吸理学療法及び人工呼吸などの呼吸療法は、今や日常に重要は治療手段の一つとして広く普及が望まれています。このような背景があるのにも関わらず、各医療施設の共通の悩みとしてこれらの呼吸療法の実際に精通した医療要員の不足が挙げられ呼吸療法の普及の大きな障害になっています。その為、呼吸療法認定士は、呼吸療法を習熟し呼吸管理を行う医療チームの構成要員を養成しかつそのレベルの向上を図ることを目的に認定制度化された資格です。

呼吸療法認定士は、呼吸療法の目的、理論、治療の実際などについて高度な専門知識を持った資格です。

心臓リハビリテーション指導士試験

今年、8月に心臓リハビリテーション指導士の試験があり、1名が合格しました。

これで2名の心臓リハビリテーション指導士が在籍となりました。

心臓リハビリテーションは、まだまだできる施設は少ない為、より知識を生かし患者様の治療や生活指導を充実させていきたいと考えています。



心臓リハビリテーション指導士は、包括的心臓リハビリテーションを通じて、循環器疾患の治療ならびに再発予防とQOL向上に貢献できます。運動心臓学や運動生理学を理解している心臓リハビリテーション指導士の強みを生かし、運動に伴う循環動態の変化を理解でき安全かつ効果的に患者様に継続性のある運動や生活指導を行うことのできる資格です。